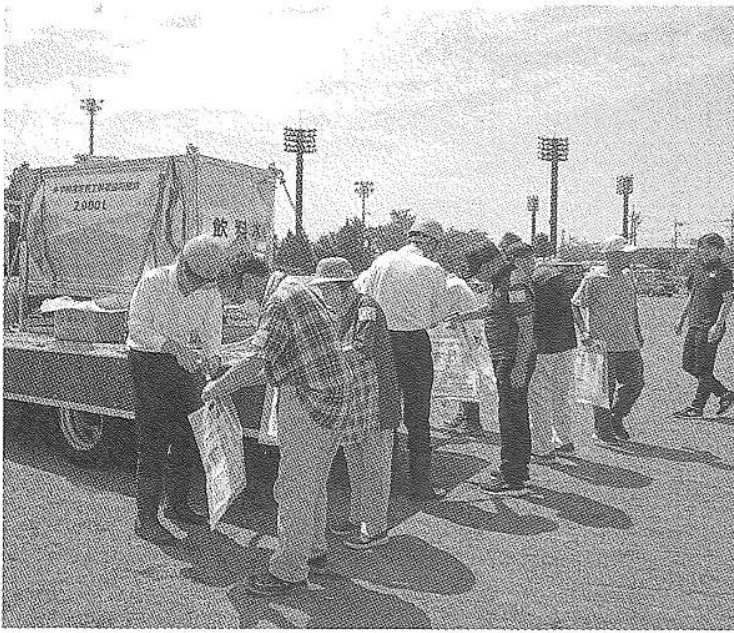


宇管工が防災訓練に参加

上下水道局と応急給水

宇都宮市管工事業協同組合（中村勝理事長）は5日、上河内中学校で行われた市総合防災訓練に参加。



市管工事業協組と上下水道局の応急給水所訓練

上下水道局とともに給水車を出動させ、地域住民に非常用飲料水を配る応急給水訓練を実施した。

訓練は震度6強の地震で人的、物的被害が多数発生していると想定。自衛隊、県小型無人機振興協会による災害情報収集訓練、震災建物救出訓練など防災関係機関が連携を確認。電気自動車を活用した給電訓練も行われた。

市管工事業組合と上下水道局は応急給水所を設置。組合は2ヶ所、上下水道局は3・6ヶ所の給水車から住民が手に持つ10リットルの袋に飲料水を流し込んだ。

会場に設置された防災啓発コーナーでは県解体工事業協会（奥田美弘会長）が東日本大震災などで倒壊家屋の瓦礫を重機で撤去する

写真パネルを展示。災害時に必要不可欠な様々な廃棄物を円滑に処理する必要性を来場者にPRした。

県防災士会（稲葉茂理事長）は防災クイズや液状化現象のミニチュア模型セツトなどを通じ、災害時の適切な行動を訴えた。

訓練後、佐藤栄一市長は「各機関の連携強化が図られたことは大変意義深く、市の防災力強化につながったと確信している。今後市民の生命と財産を守るため、防災関係機関とのさらなる連携の下、地域防災力を高め、災害対策の充実強化に努めていく」と講評した。